

# Stable3 運用マニュアル

<資金額別運用法選択ガイド>迷いなく初心者でも資産運用が可能です

★ Stable3 はこれから説明する運用法を実践することで

数万円の資金を 1000 万円を超える複数口座運用まで放置運用で育てます

★ 初心者にも安心・放置しての自動運用ができます

★ 想定外の大損失やロスカットが発生しない安全な自動運用を実現

1. MT4 インストール/Stable3 インストール
2. 口座に入金
3. Stable3 に小資金安全運用法レベル 1 の設定をして Stable3 を稼働スタート

以上の 3 ステップで、あとは Stable3 が自動で取引をしてくれます。

○ 1 年に 1 回程度のリスク発生時には自動停止

⇒ だから不意の大損失やロスカットが発生しません

○ リスク対処以外は放置運用が可能で平均月利 12.5% を安全に獲得していきます

○ 簡単複利運用を併用すれば年利で 310% が月利換算 25% が期待できます

○ 資金額が増えれば「より安全に」「より高利益」な運用法を実践できます

例えばリスク発生が 1 年に 1 回から 2 年に 1 回と安全性が高まります

○ 資金額が増えると大きな倍率の運用が可能になり獲得利益額が高まります

高倍率 12 連敗放置運用法では 500 万円の資金運用で期待月利は 59.52%

月利 30% と低く見積もっても獲得月利益が約 150 万円、複利運用をすれば相場状況によりスピードが変わってきますが、加速度的に資産が増えていきます。

[目次へ移動](#)

## ★はじめに★ ○連敗・放置とは？

本マニュアルでは○連敗と何回も記載されていますが、利益を獲得すれば**勝ち**、損失決済であれば**負け(敗け)**となります。

Stable3 は**連敗すればするほど獲得利益が大きくなる**仕組みです。

説明の中で耐 15 連敗や 15 連敗(まで)放置運用と記載の場合は、14 連敗まで自動取引で大きな利益を稼ぎ、15 連敗が発生した場合には自動停止し、それ以上の損失を防止します。

**だからロスカットしません。**

そして 15 連敗が発生するのは実績上 1 年に 1 回程度です。

つまり **1 年に 1 回程度しかリスクが発生しない**といえます。

これが 17 連敗になると **リスク発生は 2 年に 1 回程度**に安全性が増します。

本マニュアルは何回もアップデートを重ね、今では 6 万円の小資金から 15 連敗まで耐え、複利で利益獲得できるように進化しました。

また例えば 15 連敗が発生して自動停止した場合は、損切=リセットして再稼働するだけです。損切金額も運用額の約 30%程度になるように設計してあります。

わかりやすく試算すると、**100 万円を月利 10%で複利運用**すると 12 ヶ月後には約 310 万円になります。この時点で **30%の損切が発生すると残金は約 219 万円**となります。

つまり **リスクが発生しても年利で 119%は利益を獲得**できます。

リスクがいつ発生しても(複利運用時は)リスク発生時の運用残高に対しての損切額となりますので、実績上、中長期的に見れば収支は利益となります。

[目次へ移動](#)

6万円～のレベル1運用では損切金額が55%以上になってしまいますが、15万円～のレベル2運用では損切金額が30%程度に収まるようになります。

30万円～のレベル3運用では、期待月利が12.5%から13%に増える上に、耐17連敗となりリスク発生が2年に1～2回と減ります。

運用資金が増えるほど利益率が上がり、リスク発生回数と損切額割合が減っていく設計です。

運用法を変更するといってもパラメーター画面で3～5項目の設定値を変更するだけで運用法の変更ができます。

初心者の方でも、資金額に合わせて運用法(設定値)を選択でき、小資金から1000万円以上の複数口座運用まで資産を増やせるロードマップにまとめてあります。

どうぞこのStable3の運用例をまとめた本マニュアルをよく読んでいただき、ご自身に合った運用法を実践して資産を増やしてください。

FX経験者の方に関心の高いバックテストデータ・グラフをご確認いただけます

[各運用法の利益額・バックテストデータの一覧を公開しています](#)

自動取引 EA Stable3 [無料申込はこちら](#)

[目次へ移動](#)

## Stable3 [口座縛りの無い試用版無料申込はこちら](#)

※試用版などでストラテジーテスターにて検証していただくこともできます。

※低スプレッドのゼロ口座等はスプレッド 10point/通常口座は 20point の環境が実際に近いと思われます。

※テスターでは(テスト環境にもよりますが)エントリー種別を常時<連敗阻止モード>にすると利益獲得成績があまり良くないことがあります。これは多連敗が抑制されることにより獲得利益が少なくなる点と、テスターでは実際の取引ではスプレッドフィルターによりエントリーしない真夜中の時間帯なども連続で取引するため獲得 pips や連敗数が大きく変わる点に理由があります。

では、まずはパラメーター設定を見てみましょう。

**小資金放置運用法レベル 1** を例として、Stable3 のパラメーター設定をします。

MT4 のインストール・EA(Stable3)の設置/パラメーターの開き方はこちらのマニュアルをご覧ください。

⇒ <https://net0123club.net/fxcontents/stable3manu.pdf>

### ■■ **小資金安全運用法レベル 1** のパラメーター設定一覧です ■■

★以下を参考に設定しておけば、他の運用法への切替などは 1)ロット・2)倍率・10)停止連敗数・12)複利目標残高を変えるだけで他の運用法に変更できます。

**Stable3 のパラメーター画面を開き以下のように設定します**

#### ●1)初回取引ロット

※シート「小資金安全運用法(12万円以下ロット・倍率表)」<以下「シート「小資金安全運用法」と表示します」>を確認し、運用資金(残高)に合わせて入力してください

※レベル 1 の場合は「ロット A」表を参照します

★Stable3 運用エクセル⇒ <https://net0123club.net/fxcontents/stable3long.xlsx>

#### ●2)ロット倍率 1.35

※各レベル・運用法に合わせて設定します

#### ●3)エントリー種別 基本は 連敗阻止モード もしくは ロング推奨

(一般的に ・上昇/円安傾向の時はロング ・下降/円高傾向の時はショート)

※現在の相場状況では各運用法ともに常時<連敗阻止モード>にすることで多連敗や設定停止連敗数

[目次へ移動](#)

に達することによる自動停止を抑える効果が高いです。

[<連敗阻止モード>を利用した連敗回避設定について詳しくはこちらです](#)

- 4)TP 26
- 5)SL 13
- 6)リカバリースタートは OFF  
7)スタート連敗数は 0 のまま)
- 8)自動トレーリングを ON
- 9)ロスカット防止自動停止を ON
- 10)停止連敗数設定は 15 を設定…途中から<連敗阻止モード>に変更する場合は 12 か 13  
この機能で自動停止した場合、通常は簡単なリセット再稼働=損切をします  
[リセット再稼働=損切の操作法はこちらで説明](#)します

- 11)簡単複利運用モードを ON
- 12)複利運用目標残高はエクセルのシート「小資金安全運用法」を参照して

※複利運用目標残高は、基本的に現在残高より 1 つ高いロットに対応する金額にします

レベル1	レベル2	
ロットA	ロットA	
資金	資金	ロットA
15連敗 損切時 損失率 55~80%	15連敗 損切時 損失率 22~31%	
60000	150000	0.01
62000	155000	0.0105
64000	160000	0.011
66000	165000	0.0115
68000	170000	0.012
70000	175000	0.0125

現在の口座残高(スタート時の残高)に 1 段階ロットを上げた金額を入力します。

・例えばレベル 1 で資金 60000 円の場合ここには 62000 円を入力します。この時、ロットは 0.01 とします。

・この設定の場合、運用の結果残高が 62000 円になると自動停止しますので、今度は 64000 円(現在残高が 64000 円より大きい場合は、表から現在残高より大きな値を探して)を入力します。この時、ロットは 0.0105 と(ロットは目標残高に対応するロットを)入力して再稼働します。

※ロットが大きくなり利益額が大きくなると頻繁に停止し再設定することが多くなります。レベル 1 の場合は通常 2000 円刻みでアップしますが、残高の増え方に合わせて 1 万円、2 万円単位など増加金額幅を大きくすると停止頻度が少なくなります。

詳しくは[簡単複利運用にて説明](#)します。

- LINE 通知は全て ON ※18)LINENotify のトークンを取得し 18 欄に入力が必要です
- 13)エントリー ON 14)決済 ON 15)ロスカット防止自動停止 ON 16)複利運用目標達成 ON
- 17)デイリー口座残高増減 ON
- 19)マジックナンバーは変更の必要が無ければそのまま

●20)スプレッドフィルター・21)スリップページ

(ゼロ口座)スプレッドフィルターは **1.51pips**・スリップページは 5points  
プレミアム口座で運用する場合はスプレッドフィルターは **1.81pips**

●22)コメントはそのまま

●23)時差は夏時間の時 6、冬時間の時は 7

●24)週末エントリー停止・26)週初めエントリーはどちらも OFF

それぞれの時間指定は(25)18(27)9 にしておいてください

●28)エントリー時間別優先制御は OFF

(以下の 28-1)以下の各時間ごと設定は OFF なので関係ありませんが「全て優先無し」にしてください)

以上の入力をしたら自動取引をスタートします。

以上の設定で自動取引を開始すると

・ 15 連敗で自動停止し LINE で通知 → リセット再稼働=損切をします

・ 複利運用目標に達成すると自動停止し LINE で通知 → 取引ロットと目標残高の再設定をします

以上の操作以外は放置しての運用となり、14 連敗以内の連敗にはシステムが自動で対応し、利益を獲得する仕組みとなっています。

次は

・ Stable3 口座の基本事項

・ Stable3 ユーザーページ

を解説します。

◆Stable3 の口座基本事項について説明します。

○Stable3 は MT4・通貨ペア USDJPY・5分足チャートで作動します

○認証エラー表示が出ている時は認証されていませんので使用できません

正常に認証されている場合はチャート左上に・連敗数・ロット数・稼働状況が表示され、  
チャート右上にリセットボタンとコンティニューボタンが表示されます。

○ 認証登録が可能な口座は

◇ HFM **ゼロ口座**・MT4・レバレッジ 2000 倍

◇ HFM **プレミアム口座**・MT4・レバレッジ 2000 倍

スプレッドは連敗数と獲得利益額に大きな影響があります。

基本的には**ゼロ口座**での運用の方が各運用法における損切りリスクの発生が少なくなります。ゼロ口座にてスプレッドフィルターを **1.51** に設定して運用すると、連敗数が少なくなりリスクの大幅な低減が見込まれます。

尚、プレミアム口座ではスプレッドフィルター設定は **1.81** となります。

★ Stable3 ユーザー専用ページ

補足事項などの記載もありますので、定期的にご確認ください。

⇒ <https://net0123club.net/fx-hfm/stable3user/>

[目次へ移動](#)

## ● 目次

○[運用資金から運用法を選択する\(運用ロードマップ\)](#)

○[Stable3 の\(パラメーター\)設定の仕方](#)

- ・[連敗阻止モードによる連敗回避設定について](#)
- ・[TP 設定値変更による連敗脱出法について](#)

○[連敗による自動停止時のリセット再稼働=損切の仕方](#)

○[簡単複利運用法の仕方](#)

○[LINE 通知の登録方法](#)

- ・[リカバー操作の仕方](#)
- ・[手動エントリーの仕方](#)

[各運用法の利益額・バックテストデータの一覧を公開しています](#)(WEB に移動します)

初心者の方は主に使用する小資金安全運用法について以下もご一読ください

○[小資金安全運用法について](#)

[目次へ移動](#)



★無理のない運用資金額を確認してください。

下表の資金額に該当する運用法を推奨します。

資金別運用法ロードマップ	
①6万円～15万円	小資金安全運用法 小-レベル 1
②15万円～30万円	小資金安全運用法 小-レベル 2
③30万円～100万円	小資金安全運用法 小-レベル 3
④100万円～120万円	小資金安全運用法 小-レベル 4
⑤120万円～240万円	小資金安全運用法 小-レベル 5
⑥240万～(120万円～×2)	小資金安全運用法 小-レベル 5 の口座を 2 分割し <120万円～×2口座>運用にします。
⑦個別口座ごとに 200 万を超えたら	2 口座の設定を<17 連敗放置運用法・200万円～>に変更して <b>17 連敗放置運用法×2 口座</b> 運用にします
⑧それぞれの口座が 300 万を超えたら	17 連敗放置運用口座(300万円が上限のため)は 300万円を超えたら 200万円を残して出金します ※出金した資金はひとまず預金(プール)しておきます
もしくは複利運用は効きませんが、17 連敗放置運用法は 300 万円を超えた分を出金して預金(プール)する運用も選択できます。	
低リスク ⑨-1 預金(プール金)が 480 万を超えたら	新規口座を開き高倍率 16 連敗放置運用法(損失率 30%のロット表参照)の運用を始めてください。こちらはリスク発生が激低ですが、月利 10%弱で複利運用も可能です。
超高利益 ⑨-2 預金(プール金)が 500 万を超えたら	新規口座を開き高倍率 12 連敗放置運用(損失率 10%のロット表参照)の運用を始めてください。この口座は 950 万円を超えた分を出金して預金します。
もしくは預金(プール金)が 160 万円を超えた時点で高倍率 12 連敗放置運用法(損失率 33%)を新規口座で開始し、口座内でプールし口座残高が 500 万を超えたら損失率 10%のロットに変更する方法もあります。★損失率 10%のロットで始めた方が安全です。	
<随時>預金(プール金)が各運用法の最低金額を超えた場合	新規口座を開き高倍率 16 連敗/高倍率 12 連敗放置運用法などの複数口座運用を始めてください。他にもリスク発生が激低ながら高月利の<固定運用 15/16 連敗放置運用法・低倍率 20 連敗放置運用法>を選び複数口座運用することでリスク分散します。

[目次へ移動](#)

以下ロードマップ詳細を説明します。

**◆①6万円～15万円** 小資金安全運用法 小-レベル1

レベル1では15連敗に対応

<リスクの発生は1年に1回程度で月利12.5%>

※尚、3万円～のレベル0運用法があります・13連敗まで対応し複利運用にも対応していますが、1ヶ月に1回程度のリスクが発生します。資金額を増やしていただき6万円～のレベル1運用の方が安全性が高いためお勧めいたします。

**◆②15万円～30万円** 小資金安全運用法 小-レベル2

レベル2では15連敗に対応

<リスクの発生は1年に1回程度で月利12.5%>

**◆③30万円～100万円** 小資金安全運用法 小-レベル3

レベル3では17連敗に対応

<リスクの発生は2年に1～2回程度で月利13%>

**◆④100万円～120万円** 小資金安全運用法 小-レベル4

レベル4では17連敗に対応

<リスクの発生は2年に1～2回程度で月利14.1%>

**◆⑤120万円～240万円** 小資金安全運用法 小-レベル5

レベル5では17連敗に対応

<リスクの発生は2年に1～2回程度で月利14.1%>

[目次へ移動](#)

### ◆⑥240万～(120万円～×2)

この段階から2口座運用となります

小資金安全運用法小-レベル5の口座を2分割し<120万円～×2口座>運用にします。

### ◆⑦個別口座ごとに200万を超えたら

運用中の2口座の設定を<17連敗放置運用法(200万円～)>に変更して

17連敗放置運用法×2口座 運用にします

### ◆⑧それぞれの口座が300万を超えたら

17連敗放置運用口座(300万円が上限のため)は300万円を超えたら200万円を残し

て出金します。 ※出金した資金はひとまず預金(プール)しておきます

もしくは同じ17連敗放置運用法ですが、複利運用操作をしないで、ロットは固定したまま運用し、300万円を超えた分を出金して預金(プール)する運用も可能です。こちらの運用法ではリスク発生(17連敗発生)時以外は完全放置で利益だけを獲得する運用法となります。

### ◆⑨は選択肢が2つあります

#### ●低リスク●⑨-1 預金(プール金)が480万を超えたら

新規口座を開き高倍率16連敗放置運用法(損失率30%のロット表参照)の運用を始めてください。こちらはリスク発生が激低ですが、月利10%弱で複利運用も可能です。

## ●超高利益●⑨-2 預金(プール金)が500万を超えたら

新規口座を開き高倍率12連敗放置運用(損失率10%のロット表参照)の運用を始めてください。この口座は限界ロット0.019に達したら950万円を超えた分を出金して預金します。

もしくは預金(プール金)が160万円を超えた時点で高倍率12連敗放置運用法(損失率33%)を新規口座で開始し、複利運用しながら口座内でプールし、口座残高が500万を超えたら損失率10%のロットに変更する方法もあります。

★高倍率12連敗放置運用法は500万円プールしてから損失率10%のロットで始めた方が安全です。

## ◆<随時> 預金(プール金)が各運用法の最低金額を超えた場合

新規口座を開き高倍率16連敗/高倍率12連敗放置運用法などの複数口座運用を始めてください。他にもリスク発生が激低ながら高月利を狙える<固定運用15/16連敗放置運用法・低倍率20連敗放置運用法>などが選択できます。

それぞれの運用法の「損失率が低い方の」最低運用金額を確認し、預金(プール金)がその運用法の最低金額まで貯まったら、新規口座にて運用を開始します。リスク・利益率の違う複数の口座運用することでリスクが分散されます。

## ※高倍率 16 連敗放置運用法について

高倍率 16 連敗運用法は倍率設定が 1.76 倍となり、0.01 ロットの設定・234 万円(損失率 62%)・もしくは 480 万円(損失率 30%)の運用で年間 500 万円以上～の利益が期待できます。

しかも損切りリスクは、2 年に 1～2 回と非常に低く安全性が高い運用法です。

高い安全性と高利益を実現したお勧めの運用法です。

※損失率 62%・30%の運用資金表がありますのでご確認ください。ロードマップとしては、損失率 30%運用が可能な 480 万円からの運用を推奨します。

エントリー種別を最初からあるいは 12 連敗程度から<連敗阻止モード>にすることで、この損切りリスクが 2 年に 1～2 回から 3 年に 1～2 回に減る可能性があります。

また後に説明する TP 値変更による連敗脱出策により、損切りリスク回数と損切金額を軽減できる可能性があります。

また、複利運用も可能です。しかしロット範囲が狭いため、資金額が 576 万円を上回ったら、複利運用はしないで、最大ロットの 0.012 でひたすら利益を貯め込んでいく(利益部分を出金していく)運用法も可能です。複利運用をしない場合は、利益出金だけで数年間の放置運用で、高利益の継続獲得が期待できる運用法です。

但し相場に絶対はありませんのでリスクと運用法をよく理解して運用してください。

またエクセルには<高倍率 12 連敗放置運用法>の設定も記載してあります。こちらは獲得利益が大きくなりますが、必要資金額も高くなります。但し損切りリスクの発生頻度が 1 ヶ月に 1 回程度は発生します。損失率を 10%と抑えるためには最低でも 500 万円の資金が必要となります。その反面月に 50 万円～300 万円以上の利益獲得を狙うことができます。またメリットとして複利運用のレンジが広いので高利益の複利運用が展開できます。詳細説明はしませんので、運用法をよく理解できている方のみご検討ください。

その他にも固定ロットで<完全放置運用>ながら月利 19%/10%以上、しかも耐 15/16 連敗で安全性も抜群な<固定運用・15/16 連敗放置運用>もあります。  
詳しくはエクセルシート「はじめに」をご覧ください。

以上が数万円からの資金を 1000 万円以上の資産に変えるロードマップとなり、毎月数十万円程度の利益を継続的に受け取り続けることが可能になります。

この運用法では複利運用以外の操作は基本的に放置運用となり、耐連敗数〇連敗が発生しても機械的にリセット再稼働=損切をし再稼働すれば中長期的には利益収支となる目論見となります。

## 各運用法の利益額・バックテストデータの一覧を ご確認いただけます

[小資金安全運用法についてこちらもご一読ください](#)

では最初の運用法を決めて、次の項目で改めてパラメーター設定を説明します。

[目次へ移動](#)

無理のない運用資金に基づいて運用法が決まりましたら、エクセルシートから該当する運用法の設定・ロットを確認してください。

Stable3 のパラメーター設定の説明をします。

※指定連敗数とは

パラメーター10)で指定する値ですが、例えば耐 15 連敗運用法では、パラメーター 10 に「15」と入力します。

- ・ 15 連敗が発生したら自動停止します
- ・ 14 連敗までは自動対応し利益を獲得します
- ・ 15 連敗が発生したら損切=リセット再稼働をします

では例として小資金安全運用法レベル 1 のパラメーター設定をしてみましょう。

### ■■■ 小資金安全運用法レベル 1 のパラメーター設定一覧です ■■■

★以下を参考に設定しておけば、他の運用法への切替などは 1)ロット・2)倍率・10)停止連敗数・12)複利目標残高を変えるだけで他の運用法に変更できます。

Stable3 のパラメーター画面を開き以下のように設定します

#### ●1)初回取引ロット

※シート「小資金安全運用法(12万円以下ロット・倍率表)」<以下「シート「小資金安全運用法」と表示します」>を確認し、運用資金(残高)に合わせて入力してください

※レベル 1 の場合は「ロット A」表を参照します

★Stable3 運用エクセル⇒ <https://net0123club.net/fxcontents/stable3long.xlsx>

#### ●2)ロット倍率 1.35

※各レベル・運用法に合わせて設定します

- 3) エントリー種別 基本は 連敗阻止モード もしくは ロング推奨  
(一般的に ・上昇/円安傾向の時はロング ・下降/円高傾向の時はショート)  
※現在の相場状況では各運用法ともに常時<連敗阻止モード>にすることで多連敗や設定停止連敗数に達することによる自動停止を抑える効果が高いです。

[<連敗阻止モード>を利用した連敗回避設定について詳しくはこちらです](#)

- 4) TP 26

- 5) SL 13

- 6) リカバリースタートは OFF  
7) スタート連敗数は 0 のまま)

- 8) 自動トレーリングを ON

- 9) ロスカット防止自動停止を ON

- 10) 停止連敗数設定は 15 を設定…途中から<連敗阻止モード>に変更する場合は 12 か 13  
この機能で自動停止した場合、通常は簡単なリセット再稼働=損切をします  
[リセット再稼働=損切の操作法はこちらで説明](#)します

- 11) 簡単複利運用モードを ON

- 12) 複利運用目標残高はエクセルのシート「小資金安全運用法」を参照して

※複利運用目標残高は、基本的に現在残高より 1 つ高いロットに対応する金額にします

レベル1	レベル2	
ロットA	ロットA	
資金	資金	ロットA
15連敗 損切時 損失率 55~80%	15連敗 損切時 損失率 22~31%	
60000	150000	0.01
62000	155000	0.0105
64000	160000	0.011
66000	165000	0.0115
68000	170000	0.012
70000	175000	0.0125

現在の口座残高(スタート時の残高)に 1 段階ロットを上げた金額を入力します。

・例えばレベル 1 で資金 60000 円の場合ここには 62000 円を入力します。この時、ロットは 0.01 とします。

・この設定の場合、運用の結果残高が 62000 円になると自動停止しますので、今度は 64000 円(現在残高が 64000 円より大きい場合は、表から現在残高より大きな値を探して)を入力します。この時、ロットは 0.0105 と(ロットは目標残高に対応するロットを)入力して再稼働します。

※ロットが大きくなり利益額が大きくなると頻繁に停止し再設定することが多くなります。レベル 1 の場合は通常 2000 円刻みでアップしますが、残高の増え方に合わせて 1 万円、2 万円単位など増加金額幅を大きくすると停止頻度が少なくなります。

詳しくは[簡単複利運用にて説明](#)します。

- LINE 通知は全て ON

※18) LINENotify のトークンを取得し 18 欄に入力が必要です



13)エントリー ON 14)決済 ON 15)ロスカット防止自動停止 ON 16)複利運用目標達成 ON  
17)デイリー口座残高増減 ON

●19)マジックナンバーは変更の必要が無ければそのまま

●20)スプレッドフィルター・21)スリップページ

(ゼロ口座)スプレッドフィルターは **1.51pips**・スリップページは 5points

プレミアム口座で運用する場合はスプレッドフィルターは **1.81pips**

●22)コメントはそのまま

●23)時差は夏時間の時 6、冬時間の時は 7

●24)週末エントリー停止・26)週初めエントリーはどちらも OFF

それぞれの時間指定は(25)18(27)9 にしておいてください

●28)エントリー時間別優先制御は OFF

(以下の 28-1)以下の各時間ごと設定は OFF なので関係ありませんが「全て優先無し」にして下さい)

以上の入力をしたら自動取引をスタートします。

以上設定で自動取引を開始すると

・ 15 連敗で自動停止し LINE で通知 → リセット再稼働=損切をします

・ 複利運用目標に達成すると自動停止し LINE で通知 → 取引ロットと目標残高の再設定をします

以上の操作以外は放置しての運用となり、14 連敗以内の連敗にはシステムが自動で対応し、利益を獲得する仕組みとなっています。

パラメーター設定項目の一覧となります。一覧はシート「はじめに」にも記載があります。

パラメーター設定一覧		
1	1) ロット	各運用法のロット表を参照
2	2) ロット倍率	シート「はじめに」や各運用表のロット表を参照
3	3) エントリー種別	連敗阻止 もしくは ロング ※一般的に円高傾向の時はショート・円安傾向の時はロング ※近時の相場では<常時>連敗阻止モードを推奨 <b>&lt;連敗阻止モード&gt;についてはこちら</b>
4	4) TP pips	<b>26</b>
5	5) SL pips	<b>13</b>
6	6) リカバリー(連敗数指定)スタート	OFF

[目次へ移動](#)

	ON・OFF	
7	7) スタート連敗数	6)が OFF の時は設定の必要がありません
8	8) 自動トレーリング ON・OFF	<b>ON</b>
9	9) ロスカット防止自動停止 ON・OFF	<b>ON ※必ず ON にしてください</b>
10	10) 停止連敗数設定	ここで設定した連敗数に達すると自動停止耐 15 連敗運用の場合は 15 と入力 ※耐〇連敗の〇を入力します
11	11) 簡単複利運用モード ON・OFF	<b>ON</b>
12	12) 複利運用目標残高	シート「はじめに」「残高・ロット・設定一覧」を参照 <a href="#">詳細は複利運用法を参照</a>
13	13) LINE 通知(エントリー) ON・OFF	ON
14	14) LINE 通知(決済) ON・OFF	ON
15	15) LINE 通知(ロスカット防止一時停止) ON・OFF	ON
16	16) LINE 通知(複利運用目標達成) ON・OFF	ON
17	17) LINE 通知(デイリー口座残高増減) ON・OFF	ON
18	18) LineNotify で発行したトークン	<a href="#">LINE Notify への登録は後ほど説明</a>
19	19) マジックナンバー	変更の必要が無ければそのまま
20	20) スプレッドフィルター Pips	<b>1.51(ゼロ口座の場合)</b> <b>1.81(プレミアム口座の場合)</b>
21	21) スリップページ Point	5.0
22	22) コメント	変更の必要が無ければそのまま
23	23) 時差(サマータイム 6 それ以外 7)	6(サマータイム) サマータイム期間以外は 7
24	24) 週末エントリー停止設定	OFF
25	25) 週末エントリー停止時間(日本時間)	24)が OFF の時は設定の必要がありません
26	26) 週初めエントリー再開設定	OFF
27	27) 週初めエントリー再開時間(日本時間)	26)が OFF の時は設定の必要がありません
28	28) エントリー時間別優先制御(日本時間)	OFF
	28-1) 0時	以下の時間ごと設定は必要ありません。

### ◆3) エントリー種別<連敗阻止モード>(連敗回避設定)について

現在は常時<連敗阻止モード>での運用を推奨しています。

ここでは普段はロング(あるいはショート)に設定しておいて、通常より早めに自動停止しエントリー種別を変える方法を解説します。

※一般的に円高傾向の時はショート・円安傾向の時はロングにすると連敗数が減り利益を獲得しやすくなります。ロングかショートにしておいて耐連敗数が近づいた時にエントリー種別を変更する方法となります。

#### ○手順

A)連敗回避設定にしたい時は、10)停止連敗数を通常より4~5回早く停止するようにします。例えば(耐)15連敗運用の時は10)を15ではなく、10~11連敗で停止するようにします。

B)自動取引を始め、設定した連敗数で停止したら3)エントリー種別を<連敗阻止モード>に変更、10)を本来の停止連敗数に変更して取引を再開します。

C)決済通知を確認して連敗を回避したら、3)エントリー種別をロングかショートに戻します。

※稼働中にパラメーターを開き、連敗回避モードに変更することもできます。次回エントリーから連敗回避モードとなります。

※<連敗阻止モード>は連敗が続いた時、前回と反対の方向にエントリーします。相場が短時間の内に急上昇(もしくは急下降)しいつ落ち着くかわからない時や、短時間に相場の反転が頻繁に起こる場合に有効です。

※エントリー種別の変更の際、明らかに円高傾向が継続するならショート・円安傾向が継続するならロングに変更した方が良い場合もあります。

### ◆ここまで設定が終われば、Stable3 の放置運用を始められます

◆口座に資金を入金し、(マニュアル通りに MT4 に Stable3 を設置、)Stable3 のパラメーター設定が終わったら Stable3 の稼働を始めてください。自動取引が開始されます。

### ◆TP 設定値変更による連敗脱出法について

TP 値を耐連敗数の数回前から変更することで、耐連敗数まで至ることを抑制したり、損切の金額=純損失額を低減する効果が期待できます。

但しこの方法は、多連敗による利益獲得を犠牲にしてしまいますので、小資金安全運用法レベル 1・レベル 2 での使用を推奨します。

まず簡易的な手順を説明します。

レベル 1/2 は耐 15 連敗での運用となるため、通常パラメーター10)停止連敗数は 15 となり、15 連敗で自動停止します。この TP 値変更方法を実践する場合は、パラメーター10)を 13 か 14 に設定します。

そして停止連敗数に至り自動停止したら、パラメーターを開いてパラメーター4)TP 値を通常「26」になっていますが、これを 20 程度に下げて設定します。

停止連敗数を通常の「15」に戻して再稼働します。

TP 値を 20 に下げることで、通常より利益額は下がりますが TP 値決済をしやすくなりますので連敗を脱出したり、15 連敗した時の累積損失を全額損切することを避

けられる可能性が高まります。(損切額を低減することができます)

但し大きな利益を獲得するチャンスも逃すこととなりますので、**直近3ヶ月以内に15連敗が発生している場合のみ、逆に言えば15連敗が発生して3ヶ月はこのTP値変更による対策を実践してください。常にこの方法を実践することは推奨しません。**

[<上級者向けの TP 値変更についてはこちらを参照>](#)

次は設定連敗数に達した場合の対処法「リセット再稼働=損切の仕方」を説明いたします。

◆リセット再稼働=損切の方法を説明します

例えば耐 15 連敗運用において 15 連敗が発生した時にどう操作するかを説明します。

⇒一言で言えばリセット再稼働=損切をします。

手順としては…

- ・パラメーター9)と 15)が ON になっていることを再確認してください
- ・(パラメーター10)で設定した)設定連敗数に達し自動停止し LINE 通知が届いたら

①現在残高を確認し、パラメーター画面から 1)ロットを現在残高に対応する値に、  
12)目標残高を現在残高のより上の数値に変更して「OK」ボタンでパラメーター画面を閉じる([目標残高は複利運用で詳しく説明します](#))

②続いて Stable3 の稼働しているチャート右上の「リセットボタン」を押す

以上でリセット=損切が完了して再稼働します。

尚、15 連敗は 1 年に 1 回程度発生すると思われます。

17 連敗の発生は 1 年に 1 回あるかないかの発生率です。

指定連敗数により自動停止したら…

先ほどの手順でリセットして再稼働するだけです。

以下でもう一度説明いたします。

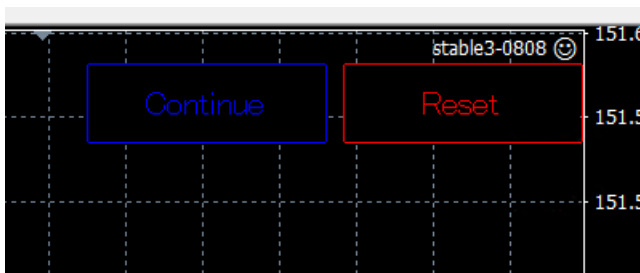
[目次へ移動](#)

★停止連敗数に達して自動停止したら

- ・パラメーター画面を開く
- ・連敗による一時停止後の残高に合わせ、ロットと複利運用目標残高を再設定
- ・パラメーター画面を OK を押して閉じる

次に

⇒Stable3 が稼働している MT4 のチャート画面の右上を確認してください



- ・(EA が稼働状態であることを確認して)赤枠のリセットボタンを押す

これで損切がされ、新しいロット設定で0連敗から自動取引が始まります。

次は簡単複利運用法について説明します。

○連敗放置運用法では、残高がパラメーター12)で設定した複利運用目標残高に到達すると「複利運用目標残高を上回ったため一時停止しました」とLINE通知が届きます。

## ●簡単複利運用法

Stable3 はパラメーター「1)ロット」を大きくすることで利益額が増えます。

◆複利運用の手順は簡単で

🔗増えた残高に合わせて1)ロットと12)複利運用目標残高を上げていきます。

※ロット・目標残高は各運用の資金・ロット対応表を確認してください

※パラメーター11)と16)がONになっていることを確認し設定変更後はチャート右上のリセットボタンを忘れずに押してください。

◆手順の詳細を説明します

例えば小資金安全運用法レベル1において(シート「小資金安全運用法」参照)

レベル1	レベル2	
ロットA	ロットA	
資金	資金	ロットA
15連敗 損切時 損失率 55~80%	15連敗 損切時 損失率 22~31%	
60000	150000	0.01
62000	155000	0.0105
64000	160000	0.011
66000	165000	0.0115
68000	170000	0.012
70000	175000	0.0125

2)ロット倍率は1.35倍で固定ですが、

1)ロットは運用金額によって変化します。

例えばレベル1では60000円・0.01ロットですが、

62000円になったら1)ロットを0.0105ロットに設定し

ます。

運用残高が64000円になったら0.011ロットに設定を

変更します。

こうして運用残高が増える度に、対応するロットにパラメーター1)ロットを変更していきます。

[目次へ移動](#)



パラメーター12)複利運用目標残高に設定した残高まで増えると自動停止して LINE に通知されます。

- ・ 60000 円・0.01 ロットで運用する時、12)複利運用目標残高には「62000」を入力します。

- ・ 運用残高が「62000」円を超えた時、Stable3 は自動停止し LINE 通知されます。

- ・ LINE 通知が届いたらパラメーター画面から 1)ロットを 0.0105 に変更し、12)複利運用目標残高を「64000」円に変更し、OK を押してパラメーターを閉じます。

- ・ チャート右上のリセットボタンを押して Stable3 を再稼働します。

- ・ 運用残高が 64000 円を超え LINE 通知が届いたら、また同じ手順で 1)ロットを 0.011 に 12)複利運用目標残高を 66000 円に変更します。

この繰り返しとなります。

場合によって 60000 円から大きな利益を獲得し、一気に残高が 67000 円になった場合は、1)ロットを 0.0115 に 12)複利運用目標残高を「68000」に変更します。あくまで現在残高に対応するロットを 1)ロットに、次の目標金額を 12)複利運用目標残高に入力します。

レベル 1 の場合は 2000 円刻みとなっているように、それぞれの資金表によってロット幅と金額幅が違います。運用が進むと残高が増えることが続いたら 1 枠ごとの

ステップアップではなく適宜調整してください。※例えばレベル1では2000円刻みとなっていますが、5000円以上継続的に利益を獲得するようになったら、60000円のスタートの場合、目標残高を62000円ではなく64000円と利益幅に合わせて設定します。

目標達成により自動停止した場合、必ず次の目標としての複利運用目標残高を現在残高より高い金額に設定してください。

現在残高より高い金額を設定しないとすぐ取引しないまま自動停止をしてしまいます。

**設定変更し再稼働する際にはチャート右上の赤い「リセットボタン」を必ず押してください。**

このように Stable3 は放置運用で増えた残高に合わせロットを増やしていくことで獲得利益も原資に繰り入れた複利運用を実現します。

ロットが増えると運用利益が増えていきます。

高ロットになればなるほど複利が進む定額スライド式複利となっています。

◆ LINE 通知について ※試用版はエントリー通知のみ作動します

変数	値
123 簡単複利運用モード ON・OFF	OFF
123 複利運用目標残高	330000
123 LINE通知(エントリー) ON・OFF	OFF
123 LINE通知(決済) ON・OFF	OFF
123 LINE通知(ロスカット防止一時停止) ON・...	OFF
123 LINE通知(複利運用目標達成) ON・OFF	OFF
123 LINE通知(デイリー口座残高増減) ON・OFF	OFF
ab LineNotifyで発行したトークン	ここにトークン貼り付け
123 マジックナンバー	334455
1/2 スプレッドフィルター Pips	7.0
123 スリップページ Point	5

OK キャンセル

パラメーター18)「LineNotify で発行したトークン」にトークンを貼付けることで

- ・ 13) エントリー通知
- ・ 14) 決済通知(前回取引との残高比を通知)
- ・ 15) ロスカット防止一時停止通知(設定した連敗数に達した時の停止通知)
- ・ 16) 複利運用目標達成通知(目標残高を超過した時の停止通知)
- ・ 17) デイリー口座残高増減通知(前日の取引結果として口座残高の前日比を通知)

以上を通知することができ、項目ごとに通知のオン・オフができます。

◆ トークン発行からトークン貼付けまでの手順は

トークンの発行の前に以下手順を済ませておきます。

◇ LINE にて、ID 検索で「@linenotify」を検索して友達に追加します。

- ・ LINE アプリを開く → [友だち追加] → [ID/電話番号] から @linenotify を検索
- [追加] をタップ

[目次へ移動](#)

◇次に LINE にてグループラインを 1 つか口座数分作成して@linenotify をグループに招待しておきます。(グループ名はいつでも変更できます)

◇続いてトークンの発行をします。(無料で発行されます)

- ・ [LINE Notify](#) に LINE のメールアドレスとパスワードでログイン
- ・ 右上の自分の名前のところからマイページに移動
- ・ トークンに名前を付け、先ほど作成したグループラインを選択して「トークンを発行する」ボタンで取得できます。

※トークンは再表示されませんので必ずメモをとってください。

尚、トークン名は、通知される際に表示される「友達の名前」になりますので口座番号や運用方針などで名付けたほうがわかりやすいです。但しアフィリエイトなどで公開する場合は口座番号は避けて、設定の特長や運用方針などの名前にするといいでしょう。(例えば Stable3-12 連敗放置運用・Stable3 高倍率運用など)

尚、トークン名は変更ができません。変更したい場合は、新規にトークンを発行するしかありません。

パラメーターを開き、「ここにトークン貼り付け」欄に、トークンを貼り付ければ完了です。

ここまで Stable3 の運用方法として

- ① [資金額から運用法を決める方法](#)の解説
- ② [パラメーター設定方法](#)の解説
- ③ [〇連敗が発生した時のリセット再稼働=損切の方法](#)の解説
- ④ [資産増加スピードを格段に上げる簡単複利運用方法](#)の解説

以上の基本項目と関連事項を説明してまいりました。

基本的に

- ・設定した〇連敗の発生で自動停止したら③の手順でリセット再稼働=損切をする
- ・設定した目標残高に達し自動停止したら④の手順で複利運用の為にロットと目標

金額を再設定する

この繰り返しの結果

- ・運用残高が増えたら①のロードマップを参考に運用法を変更する/口座を追加する

ことで、複数口座にリスク分散する運用法も自然に無理なく実践できます。

## ◆参考)リカバー操作について

リカバー操作は基本的に小資金安全運用法では実践しなくても良いと考えます。

もちろん実践するかしないかは任意となります。

実践するとしても高倍率 12 連敗放置運用法などになりますので、以下説明と各運用法ごとのエクセルシートを参照して慎重に判断してください。

リカバー操作について説明します。

例えば耐 12 連敗運用法において 12 連敗が発生し、自動停止して LINE で通知された場合に…

これまで **13 回目の取引はしないでリセット再稼働=損切をする**と説明してきました。

リカバー操作とは、設定した連敗により自動停止し LINE で通知されたら…

**13 回目の取引をして**、12 連敗で被った累積損失を少しでも減らす、できれば帳消しにして、さらには利益を獲得することを目的とします。

但し、13 回目の取引結果によっては損失がさらに増える結果になるかもしれません。

またリカバー操作=13 回目の取引をする場合は、Stable3 での自動エントリーではなく、Stable3 を停止し手動でエントリーする方法が基本となります。

では具体的にリカバー操作の方法を説明します。

[目次へ移動](#)

選択した運用法のエクセルシート「○連敗放置・リカバー設定」など対応するシートを確認してください。

例としてエクセルシート「高倍率 12 連敗放置・資金・設定」を見てみます。

		①「1)ロット」設定値 → 0.01						
取引13回目の設定		②「2)ロット倍率」設定値 → 2						
③今回ロット入力値↓	累積損失	TP設定値	TP利益	最終損益		SL設定値	SL損失	最終損益
30.72	▲ 532350	3	92160	▲ 440190		3.5	▲ 107520	▲ 639870
30.72	▲ 532350	6	184320	▲ 348030		5	▲ 153600	▲ 685950
30.72	▲ 532350	9	276480	▲ 255870		6	▲ 184320	▲ 716670
30.72	▲ 532350	12	368640	▲ 163710		7	▲ 215040	▲ 747390
30.72	▲ 532350	15	460800	▲ 71550		8	▲ 245760	▲ 778110
30.72	▲ 532350	18	552960	20610		9	▲ 276480	▲ 808830
30.72	▲ 532350	21	645120	112770		10	▲ 307200	▲ 839550
30.72	▲ 532350	24	737280	204930		11	▲ 337920	▲ 870270
30.72	▲ 532350	27	829440	297090		12	▲ 368640	▲ 900990
		※自動トレーリングにより利益額は増える可能性があります						
12回目取引ロット⇒	20.48							
基準残高入力⇒	5000000							
残高に対する損失率	10.65%							

水色のセル①に 1)ロット、②)ロット倍率を入力すると、薄黄色のセル③に、13 回目に取引すべきロットが表示されます。

### ○手動エントリーの仕方

○Stable3 は一時停止し、PC(VPS)での MT4 にて手動エントリーをします

このエントリーの時に上記③欄「今回ロット入力値」に表示されたロット(上図では 30.72)でエントリーをします。

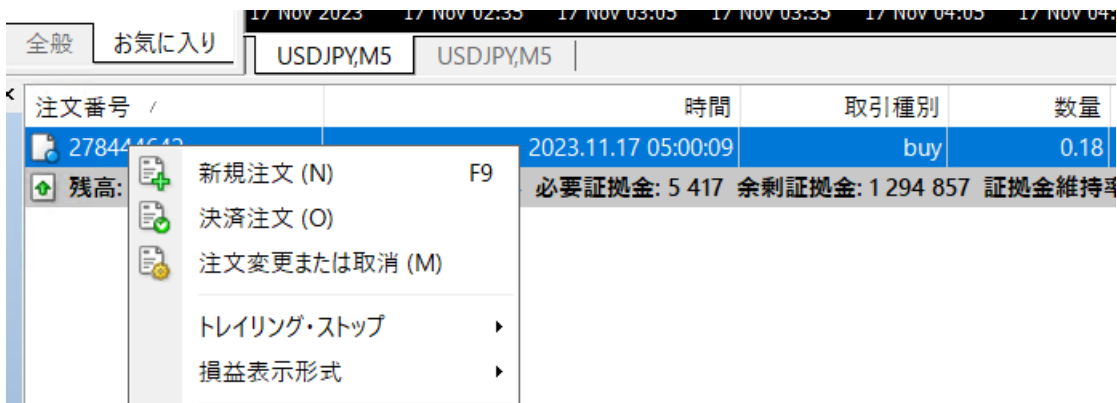
具体的には、MT4 チャート左上の▼を押してトレードパネルを表示します。



トレードパネルの中央(画像では 1.50)の数値を③欄のロット数に変更します。

- ・あとは、相場が上がる(円安方向)と予想したら BUY=買いボタンを押し、
- ・相場が下がる(円高方向)と予想したら SELL=売りボタンを押しエントリーします

○この時点では決済条件が入力されていないので注意してください



チャート下のターミナル「取引」タブで該当ポジションを右クリックします

注文変更または取消ボタンを押して次画面で TP/SL 値を設定します

注文の変更

現在値との差: 70 ▼ ポイント    現在値との差: 30 ▼ ポイント

下段にコピー: 150.582    下段にコピー: 150.682

決済逆指値: 150.337    決済指値: 0.000

・ポジション #278444642 buy 0.18 USDJPYの S/Lを:150.337 T/Pを:0.000に変更...

現在価格から 30 ポイント 圏内の注文は発注できません。

[目次へ移動](#)



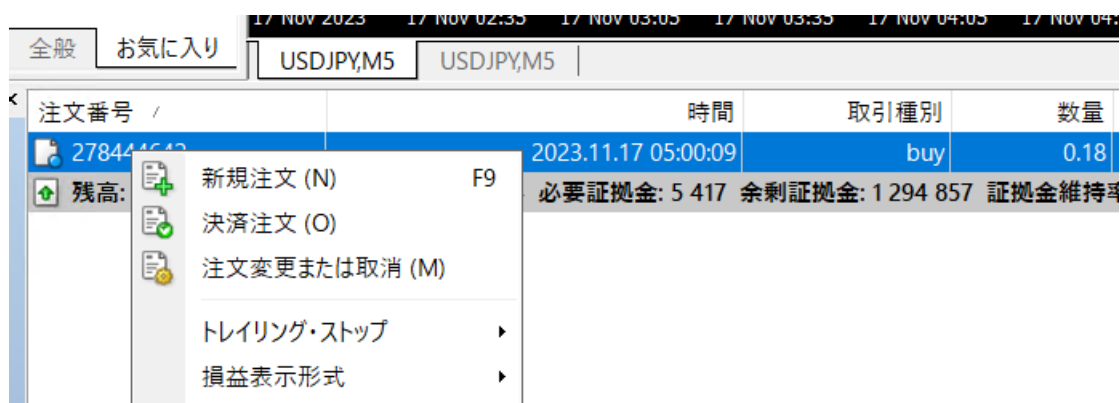
決済逆指値は SL(損切)決済する値、決済指値は TP(利益)決済の値を入力します

「現在値との差」に入力すると楽です(1pips=10 ポイントに注意)

トレーリングストップを設定する場合は TP 値を入力しなくても良いです

## ○トレーリングストップの設定の仕方

チャート下のターミナル「取引」タブで該当ポジションを右クリックします



トレーリング・ストップに合わせて「カスタム設定」をクリックします

次画面でトレーリングストップの幅を設定します

ここでトレーリングストップ発動の値をポイントで設定します

例えば 30 ポイント=3pips と設定すると、3pips の利益を獲得するとトレーリングストップを発動し以降は 3pips ごとに決済値が自動で上昇します。

●決済条件の設定が終わったら Stable3 を再稼働しリセットボタンを押します

※決済条件の設定には [ロットと TP/SL 設定による獲得金額計算機](#) を活用してください

◆ここでエクセルのシート「○連敗放置運用・リカバー設定」に戻ります

		①「1)ロット」設定値 → 0.01						
取引13回目の設定		②「2)ロット倍率」設定値 → 2						
③今回ロット入力値↓	累積損失	TP設定値	TP利益	最終損益		SL設定値	SL損失	最終損益
30.72	▲ 532350	3	92160	▲ 440190		3.5	▲ 107520	▲ 639870
30.72	▲ 532350	6	184320	▲ 348030		5	▲ 153600	▲ 685950
30.72	▲ 532350	9	276480	▲ 255870		6	▲ 184320	▲ 716670
30.72	▲ 532350	12	368640	▲ 163710		7	▲ 215040	▲ 747390
30.72	▲ 532350	15	460800	▲ 71550		8	▲ 245760	▲ 778110
30.72	▲ 532350	18	552960	20610		9	▲ 276480	▲ 808830
30.72	▲ 532350	21	645120	112770		10	▲ 307200	▲ 839550
30.72	▲ 532350	24	737280	204930		11	▲ 337920	▲ 870270
30.72	▲ 532350	27	829440	297090		12	▲ 368640	▲ 900990
		※自動トレーリングにより利益額は増える可能性があります						
12回目取引ロット⇒	20.48							
基準残高入力⇒	5000000							
残高に対する損失率	10.65%							

先ほど設定した手動エントリーで例えば 6pips の利益獲得で TP 決済した場合、最終損益が▲348030 円となると表示されています。

例えば 9pips の損失で SL 決済した場合、最終損益が▲255870 円となる予想です。

この TP/SL の最終損益を参考に手動エントリーにおける決済値・トレーリングストップの設定値を決めてください。

○決済がされましたら、残高を確認して、残高に対応する Stable3 の 1)ロットと 12)複利運用目標残高を設定して、再び Stable3 を稼働させてください。

※尚、上図の枠したの水色セル「基準残高入力⇒」の右セルに運用残高を入力すると○連敗(上図では 12 連敗)が発生した時の累積損失率が表示されます。

以上がリカバー操作の手順となります。

[目次へ移動](#)

手順をまとめると

- ①Stable3 を停止する
- ②シート○連敗放置運用・リカバー設定にロット等入力し取引ロットを確認
- ③確認した取引ロットで手動エントリー
- ④エントリーに TP 値・SL 値・トレイリングストップ(TS)を設定する

TP は設定無し/SL はシート「○連敗放置・リカバー設定」を確認してください

トレイリングストップの設定もシートの TP を確認しながら設定してください

- ⑤Stable3 を再稼働する(手動エントリーが決済されるまでエントリーはしません)
- ⑥決済されたら口座残高を確認
- ⑦口座残高に合わせて 1)ロット・12)目標残高を再設定
- ⑧Stable3 を再稼働し、念のためリセットボタンを押す

※[ロットと TP/SL 設定による獲得金額計算機はこちらを参照](#)してください

#### ◆手動エントリーのメリット

手動エントリーは成行注文となりすぐにポジションを持ちます。相場の上昇傾向であるか下落傾向であるかを確認し、流れのまますぐにポジションを持てるため利益決済をしやすいことがメリットとなります。

それに対して Stable3 の自動取引では、ポジションを持っていない時の毎正時にエントリーをします。そのため決済後次のエントリーまでにタイムラグが発生します。これは急激な下落方向の相場が長時間続く場合、Stable3 の自動取引では決済後すぐ

にポジションを持つと連敗数が急激に伸びることを避けるための仕様です。

この特性が理解できていれば、リカバー操作に限らず、Stable3の稼働中でも、例えば相場の上昇・下落がわかりやすい時に手動エントリーでポジションを持つ運用も可能となります。

(参考まで)手動エントリーには予約エントリーとでも呼べる「指値注文・逆指値注文」というエントリーもあります。例えば149円台後半でダラダラと動く時、150円を超えると一気に上昇したり、あるいは反発して一気に下落するかもしれない時…150円を少し超えた値で指値注文(逆指値注文)を入れることも可能です。

※手動エントリーの際には[ロットとTP/SL設定による獲得金額](#)を確認してください。

※Stable3を稼働させたまま利用するリカバー操作の方法はエクセルの各シートに記載してあります。上記の手動エントリーのメリットがあることから基本的には手動エントリーによるリカバーをお勧めします。

◆ 自動取引ソフト Stable3 の基本 及び 20 連敗放置運用法について

○Stable3 は、相場がどんなに急落しても損失額が一定でロスカットが起こらない安全な EA です。逆に相場が上昇したり急騰した場合には、自動トレーリング機能により最大利益を獲得します。

この意味では相場に左右されることのない安全安心なの自動取引となります。

○Stable3 は、どれだけ損失決済が続き=連敗しても、利益決済をすれば累積損失を上回る利益を獲得する仕様と設定になっています。

このため、例えば耐 17 連敗放置運用法では、16 連敗までは自動対応しますのでその意味では相場に左右されない安心安定運用の自動取引となります。

とはいえ、資金額と取引ロット、取引額の増加倍率により、耐えられる連敗数が変わります。

逆に言えば、耐えられる連敗数である限り自動で利益を獲得し続ける安全な EA と言えます。

◆ 複利運用も可能な低倍率 20 連敗放置運用法を開発したので説明を変更しました。

これまでの説明通り低倍率 20 連敗運用法では「19 連敗まで自動対応し」20 連敗が発生した時に自動停止します。

**低倍率 20 連敗運用法は**、ロットと資金額はエクセルシートの「低倍率 20 連敗放置・資金・設定」を確認、2)倍率は 1.53 で固定となります。

20 連敗以上が発生することは、3 年に 1 回程度となります。

年間期待利益はロット 0.01 で 68 万円程度となります。

また普段はロット 0.01 で 50 万円(ロット 0.018 で 90 万円)を入金しておけば、17 連敗までは自動対応して利益を獲得できます。この場合 17 連敗で停止するようにしておいて、17 連敗が発生して自動停止したら、そこで「損切をしてしまうか」

「追加入金して 22 連敗に至るかどう様子見」を選ぶことができます。

17 連敗が発生すること、2 年に 1~2 回だけですのでその間は 50 万円だけ入金して複利運用しながら実質年利 120%程度を獲得できる設計です。

**仮に 20 連敗が発生した場合に備えて損失率も確認しておいてください。**

**65%前後と 33%前後の損失率で運用資金額目安を提示してあります。**

普段は 17 連敗に対応する最低限運用額だけ入金しておいて、20 連敗運用法を実施…17 連敗が発生し自動停止した時点で損切するか、追加入金するかを選択します。

17 連敗対応額の入金で概ね年利 100%が期待利益となります。

ロードマップとは別ものとして掲載していますが、20連敗は滅多に発生しない割には年利100%と高利益が期待できます。

余剰資金・余剰資産で複数口座運用を検討してください。

●その他マニュアルはお手元にありますか？

★ Stable3 運用法マニュアル

本マニュアルとなります。

本マニュアルでは運用エクセルを使用します。

★ Stable3 運用エクセル

⇒ <https://net0123club.net/fxcontents/stable3long.xlsx>

★ Stable3 本体ファイル

⇒ <http://net0123club.net/123/stable3>

★ Stable3(MT4・EA)基本設定マニュアル

⇒ <https://net0123club.net/fxcontents/stable3manu.pdf>

まだ正規版・試用版 Stable3 を受け取っていない方や、正規版の口座認証申請をされてない方は・・・

**Stable3 正式版を無料申込してください**

★下記より正規版 Stable3 を無料でお申込みいただけます。

※指定の FX 事業者での無料口座開設が必要となります

⇒ <https://net0123club.net/fx-hfm/st3/>

★また(口座縛りの無い)無料試用版を試したい方は下記よりお申込みいただけます。

[目次へ移動](#)



※各社の MT4 にて自由に使用できますが、試用には期間制限があります

⇒ <https://net0123club.net/fx-hfm/st3/indexlimit.html>

## 試用版について

stable3limited○○○○.ex4 のファイル名は○○月○○日まで使用できる試用版となります。

口座縛りはありませんので任意の FX 事業者の MT4 口座でお試しいただけます。

FX 業者と口座種別により平均スプレッドが違いますので、エントリーしない時はスプレッドフィルター設定を確認して適宜変更してください。

LINE 通知機能はエントリー通知のみとなります。本マニュアルでの○連敗での自動停止、複利運用目標達成による自動停止の際の LINE 通知がありませんので、連続取引の面で正規版よりもかなり劣ります。基本ロジックなどは正規版と同等です。ご試用いただき

Stable3 の魅力を体感していただきましたら、正規版を無料でお申し込みください。

⇒ <https://net0123club.net/fx-hfm/st3/>

本マニュアルで解説している内容は自動取引 EA・Stable3 の設定例と、その設定による実績・シュミレーションからなる運用特性と想定される設定変更方法と設定変更ポイントの解説となります。投資・運用に関するアドバイスはできませんため、実際の設定・運用にあたっては相場の変動等をよくご確認の上、設定・運用を行ってください。

## ★旧運用法は小資金安全運用法に進化しました

小資金安全運用法は他の運用法に比べ取引ロットを高く設定する反面、倍率を抑えています。そのため…

### ●レベル1・レベル2では15連敗に対応

<リスクの発生は1年に1回程度で月利12.5%>

### ●レベル3では17連敗に対応

<リスクの発生は2年に1~2回程度で月利13%>

### ●レベル4・レベル5では17連敗に対応

<リスクの発生は2年に1~2回程度で月利14.1%>

それぞれ簡単複利運用にも対応して資産を安全に増やすことが可能です。

バックテストはこちらから確認できます [レベル1/2バックテスト](#) [レベル4/5倍バックテスト](#)

特に初心者の方は小資金での運用から始められることが多いと思われます。

利益率を下げるかわりに、なるべく損切りリスクが発生しない設計にしました。

最低必要資金は1万円～、推奨運用資金は6万円～となります。

エクセルシート「少資金安全運用法(12万円以下ロット倍率表)」を参照して、ロット・倍率を設定してください。

利益率を下げたといってもレベル4・レベル5では、期待利益は月利14%程度になります。複利運用も可能ですので50万円の資金が1年後には約240万円になることも現実的です。

[目次へ移動](#)

しかも 17 連敗が発生して損切りリスクが発生することは、2 年に 1 回程度だけ。

この損切りリスク以外には、ほぼノーリスクの運用法となります。

### ◆少資金安全運用法での TP 値変更による連敗脱出・損失金額軽減方法

◇レベル 1・レベル 2 で運用している場合、通常 15 連敗まで達すると資金額に対してレベル 1 で 55～80%、レベル 2 で 22～31%の損切となってしまいますが、13 連敗で一旦停止し以降 TP 値を 20 に設定して再稼働すると、資金額に対して 10～30%の損切に抑えられる可能性が高くなります。

この方法は、レベル 1 運用で、直近 3 ヶ月以内に 15 連敗が発生した場合、短期間にまた 15 連敗が発生することを抑止するために実施することをお勧めしています。例外として、レベル 1 運用を始めたばかりの時や資金が少なく安全性を重視する時は 14 連敗で停止し TP 値を 20 にしてみると、いきなりの大きな損切を抑止できるかもしれません。

**レベル 3/4/5 については TP 値変更は非推奨です。**

◇レベル 3・レベル 4・レベル 5 の運用の場合は、通常 17 連敗まで達すると資金額に対して 33～40%程度の損切となります。17 連敗ではなく 14 もしくは 15 連敗で自動停止するように停止連敗数を設定し、自動停止したら TP 値を 20 に設定変更し再稼働します。損失額を資金額の 0～20%に軽減できる可能性が高まります。

(倍率 1.5 を超えていますので、TP 値を 18 などに下げて損失額を軽減しつつ連敗を

脱出する方法もあります)

◆エントリー種別は最初から<連敗阻止モード>にしておくとも連敗の発生が抑えられ、利益率は下がりますが、損切回数が減少します。つまり損切=リスク=損失が少なくなります。<連敗阻止モード>の適用は、自動運用途中で変更することもできますが、最初から設定しておいた方が現在の相場状況では、利益率は落ちますが効果的で安心です。

## <上級者向け TP 値変更>

この対策法は 4)TP の設定を 26 より小さくすればそれだけ TP 決済=利益決済の可能性が高まり、連敗を脱出しやすくなる仕組みの応用です。但し TP を小さくし過ぎると利益決済になっても損失の取り戻し額が小さくなってしまいます。

実践上、TP 値を 5pips 程度下げるだけでも連敗脱出効果は高くなります。

これらの特性を理解した上で、レベル 1 運用以外でも TP 値を一時的に下げて連敗を脱出する方法を使うことができます。

エクセルシート「連敗阻止ロット・TP 試算表」をご覧ください。

上部の青いセルにパラメーター1)ロットと 2)倍率を入力すると、下の表に、○連敗した時のロット数と累積損失額が表示されます。

※例えば 6 連敗の行(横列)には 6 回目の取引のロット数と 6 回取引(6 連敗)した時の累積損失額が表示されます。

黄色系で着色されたセルには、次の取引のロットと<「イーブン TP」として TP の設定値>が表示されます。

次の取引で「表示されたロット」でエントリーをし、イーブン TP の設定値にて TP 決済がされた場合、利益は出ないかもしれませんが累積損失は回収できます。

◇TP 値を 26 より小さくすればするほど TP 決済する可能性が高くなります。

◇必ずしもイーブンでなくても、例えばシート上ではイーブン TP が 21.6 と表示されていても、TP 設定値を 22 や 23 に設定すればその分利益は確保できます。

◇さらに取引ロットを大きくすればするほど、イーブンにできる TP 値は小さくなりますので、TP 決済になる可能性はさらに高くなります。

[目次へ移動](#)

⇒表にはロット数を(倍率)設定値通り・2倍・2.5倍・3倍にした時それぞれの必要イーブン TP も表示されます

◇ロット数を上げれば上げるほど SL 決済になってしまった場合の損失額は大きくなります。この点と、Stable3 は連敗すればするほど大きな利益を獲得する仕様ですので、あまりこの方法を多用しても獲得利益が少なくなってしまうことは理解しておいてください。

推奨する使い時としては・短期間に多連敗が続いて発生している時などです。

この方法は、利益獲得の機会を減らしてでも、少しでも損切のリスクを下げることを目的とします。資金が少ないうちは複利も効きにくく資産増加スピードが遅くなりますが、スピードを犠牲にすることでゆっくりと確実に資産を増やしていくことになります。

TP 値の変更により自動トレーリングストップ機能の発動が早まりますが、展開によっては 26pips 以上で大きく利益を獲得する可能性も残されています。

次取引のロットを 2 倍・2.5 倍・3 倍とする場合は、設定停止連敗数に迫ってきた場合に任意のタイミングで Stable3 の自動運用を停止し、[手動エントリー](#)をする必要があります。手動エントリーの際に、ロットと TP/SL の設定値の参考にしてください。

実践上、2 倍ロットにて次取引エントリーをすると、概ね TP としては 18pips か 19pips 程度に設定すると累積損失を解消して少し利益が出ます。26pips と比較すると 7~8pips の違いですが、これだけで利益決済ラインが 7~8 銭下がりますので影響は大きいです。

[目次へ移動](#)

またこの際、SL の設定値を 13pips よりも大きくすることで、SL 決済=損失決済=負けを発生しにくくすることもできます。但し、取引ロットを大きくする、SL 設定値を大きくすることは、万が一 SL 決済=損失決済になった時の損失額が大きくなりますので十分に気を付けてください。

○同じシート「連敗阻止ロット・TP 試算表」には

★取引ロットと TP/SL(pips)を入力すると獲得金額がわかる計算機もあります

※(pips)欄に TP を入力すれば獲得金額・SL を入力すると損失金額がわかります

本項ではロットを上げ、TP 値を下げることで累積損失を回収する<イーブン TP>

について説明しましたが、場合によっては早い連敗数のうちに=累積損失が少ない

うちにできるだけ TP 決済の確率を上げたい、累積損失の 70%の回収が良いので

できるだけ TP 決済の確率を上げたい時があると思います。

こうした時には任意のロットと TP(SL)pips を入力することで獲得(損失)金額がわ

かりますので特性を理解できる方は是非ご活用ください。